

令和7年度 事務事業評価表 (令和6年度実績)

事務事業名		まちづくり総合計画策定事業費			担当所属	企画課			
基本情報	分野	9 都市経営		事業期間	令和5年度 ~ 令和6年度				
	基本施策	3 効率的かつ効果的な行政マネジメントの推進		会計種別					
	推進施策	1 計画的な施策の推進		実施計画	総合戦略				
事業概要	対象	市民、全市域							
	意図	○第3次周南市まちづくり総合計画の策定に向けて、広く市民等の意見を取り入れるため、審議会の開催、パブリックコメントを実施する。○市民等の意見を基に素案を作成し、令和7年度（2025年度）までに計画を策定する。							
	成果	令和7年度以降10年間の市の方向性及び5年間の具体的施策を市民・企業・行政で共有することができ、計画的にまちづくりを進めることができる。							
	手段	○まちづくり総合計画審議会の開催、パブリックコメントの実施							
指標	活動指標	指標名		単位	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R7年度見込	
		審議会等開催数		目標値	回	0	1	5	0
				実績値	回	0	1	6	-
				目標達成度	%	-	100.0	120.0	-
コスト	(単位：千円)		令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 予算		
	トータルコスト		0	0	16,589	19,648	0		
	事業費		0	0	8,870	1,361	0		
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0		
		受益者負担	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
		一般財源	0	0	8,870	1,361	0		
	人件費合計		0	0	7,719	18,287	0		
	正職員		0	0	6,616	17,032	0		
正職員以外		0	0	1,103	1,255	0			
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)			
人員	正職員 (人)	0.00	0.00	0.91	2.27	0.00			
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.69	0.82	0.00			
環境変化等	開始時の周辺環境								
	人口減少や少子高齢化の進行に伴う様々な社会課題が顕在化しており、地域特性や市民ニーズを踏まえ、将来にわたり持続可能な市政運営が求められている。								
	現状の周辺環境								
人口減少や少子高齢化の更なる進行のほか、本市を取り巻く社会情勢の変化による多様化・複雑化する課題がある。									
今後の予想される周辺環境									
更なる人口減少や少子高齢化の進行による課題に対し、幅広い多様な主体と協働し、的確に対応することで持続可能な市政運営が図られる。									
評価	評価項目		評価	評価の理由					
	妥当性	1. 市の関与（税金支出）	A	本市におけるまちづくりの最上位計画となる総合計画の策定業務であり、条例にも定められている。					
		2. 事務事業の目的（対象・意図）	A						
		3. 事務事業の目標（活動指標等）	A						
	有効性	4. 計画の実施状況	A	総合計画策定に向けて、市民等の幅広い意見を取り入れるため、審議会の開催やパブリックコメントを実施した。					
		5. 目標（活動指標等）の達成度	A						
		6. 上位施策への貢献度	A						
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	A						
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み	A	市民アンケートや職員によるヒアリングを踏まえ、素案を作成するとともに、審議会や分野ごとの部会、パブリックコメントを実施するなどして、当初の予定通りに総合計画を策定した。					
		9. 類似事業との統合・代替の検討	A						
10. これまでの実施手段		A							
総合評価	D	市の総合的かつ基本的な行政運営の指針を示し、市民にまちづくりの長期的な展望を示すため、市の最上位計画である「第3次周南市まちづくり総合計画」を令和7年3月に策定した。							
改革案	今後の実施方向性	廃止・休止							
	成果方向性								
	コスト方向性								
	改革効果（どのような効果が期待できるか）								

令和7年度 事務事業評価表 (令和6年度実績)

事務事業名		企画管理事務費			担当所属	企画課			
基本情報	分野	9 都市経営		事業期間	～				
	基本施策	3 効率的かつ効果的な行政マネジメントの推進		会計種別					
	推進施策	1 計画的な施策の推進		実施計画	総合戦略				
事業概要	対象	市民、全市域							
	意図	○総合計画及び総合戦略を効果的に推進し、持続可能なまちづくりを実現する。 ○市が直面する諸課題への対応等に向け、各部署と連携して、円滑な市政運営と施策の実施につなげる。							
	成果	総合計画及び総合戦略に基づき、総合的かつ計画的な市政運営を図ることで、目指すべき将来の都市像を実現する。							
	手段	○総合計画及び総合戦略の進捗管理 ○国の制度等に関する調査、研究、施策立案 ○実施計画の策定							
指標	活動指標	指標名		単位	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R7年度見込	
		進捗管理実施回数		目標値	回	2	2	2	2
				実績値	回	2	2	2	-
				目標達成度	%	100.0	100.0	100.0	-
コスト	(単位：千円)		令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 予算		
	トータルコスト		24,194	29,563	18,036	19,112	27,705		
	事業費		2,885	2,829	3,176	2,805	3,170		
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0		
		受益者負担	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
	一般財源		2,885	2,829	3,176	2,805	3,170		
	人件費合計		21,309	26,734	14,860	16,307	24,535		
正職員		21,309	26,734	14,540	15,831	24,535			
正職員以外 (事業費集計済分)		0 (0)	0 (0)	320 (0)	476 (0)	0 (0)			
人員	正職員 (人)	3.00	3.71	2.00	2.11	3.27			
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.20	0.18	0.00			
環境変化等	開始時の周辺環境								
	人口減少や少子高齢化の進行に伴う様々な社会課題が顕在化しており、地域特性や市民ニーズを踏まえ、将来にわたり持続可能な市政運営が求められている。								
	現状の周辺環境								
総合計画や総合戦略の推進にあたり、効果的な推進体制の構築に向けた仕組みづくりを進めている。									
今後の予想される周辺環境									
急速に変化する社会情勢に迅速かつ的確に対応するため、先進事例等の情報収集に努め、事業の効率化を図るなど、組織的・機能的に施策を推進することが求められる。									
評価	評価項目		評価	評価の理由					
	妥当性	1. 市の関与 (税金支出)	A	総合計画及び総合戦略の進捗管理を適切に実施し、中長期的な観点から総合的かつ計画的にまちづくりを推進した。					
		2. 事務事業の目的 (対象・意図)	A						
		3. 事務事業の目標 (活動指標等)	A						
	有効性	4. 計画の実施状況	A	様々な課題に対し、総合計画及び総合戦略に掲げる取組の推進を図ることで、円滑な市政運営につながった。					
		5. 目標 (活動指標等) の達成度	A						
		6. 上位施策への貢献度	A						
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	A						
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み	A	適切な進捗管理による課題等の把握やそれに対する施策の推進など、一連のPDCAサイクルを進める一方、より効率的な行政マネジメントの手法について関係課と連携して検討を行う。					
		9. 類似事業との統合・代替の検討	A						
10. これまでの実施手段		B							
総合評価	A	総合計画をはじめとする主要な計画の推進や施策立案、施策の実現に向けた庁内間連携の調整など、円滑な市政運営の実現に不可欠な事業である。							
改革案	今後の実施方向性	維持	○総合計画及び総合戦略を着実に推進するため、行政マネジメントサイクルと連動した、効率的かつ効果的な進捗管理体制を構築する。 ○総合計画に基づく「実施計画」をローリング方式により策定する。						
	成果方向性	成果維持							
	コスト方向性	コスト維持							
	改革効果 (どのような効果が期待できるか)								
総合計画及び総合戦略を着実に推進することにより、将来にわたり持続可能なまちづくりの実現に寄与する。									

令和7年度 事務事業評価表 (令和6年度実績)

事務事業名		市民館跡地利活用検討事業費			担当所属	企画課			
基本情報	分野	2 生涯学習・人権		事業期間	令和5年度 ~				
	基本施策	2 文化・芸術の振興		会計種別					
	推進施策	1 文化・芸術活動の促進		実施計画	該当	総合戦略			
事業概要	対象	本庁舎臨時駐車場（市民館跡地）							
	意図	市民館跡地の利活用に向けた基本構想・基本計画を策定する							
	成果	本庁舎臨時駐車場として一時的に運用している市民館跡地について、将来的を見据えた利活用が図られる							
	手段	市民アンケート及び団体ヒアリング、有識者検討会議等の実施							
指標	活動指標	指標名		単位	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R7年度見込	
		審議会等開催数		目標値	回	0	1	4	0
				実績値	回	0	1	3	-
				目標達成度	%	-	100.0	75.0	-
コスト	(単位：千円)		令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 予算		
	トータルコスト		0	0	21,089	30,868	28,343		
	事業費		0	0	10,766	5,433	582		
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0		
		受益者負担	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
		一般財源	0	0	10,766	5,433	582		
	人件費合計		0	0	10,323	25,435	27,761		
	正職員		0	0	10,323	25,435	27,761		
正職員以外		0	0	0	0	0			
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)			
人員	正職員 (人)	0.00	0.00	1.42	3.39	3.70			
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
環境変化等	開始時の周辺環境								
	市民館は市役所本庁舎の建設を機に平成27年に閉館、翌年に解体し、現在その跡地は庁舎の臨時駐車場として利用されている。また、全国的に国有施設の老朽化が進んでおり、国は、地方自治体と連携し、国有施設の集約化や複合化のほか、再編、建替などエリアマネジメントに取り組んでいる。本市においても、平成27年から国、市それぞれの所有財産の有効活用等についての検討を行ってきたが、こうした動きを加速化させたいとの国の意向を受け、具体的な検討に着手した。								
	現状の周辺環境 同上								
環境変化等	今後の予想される周辺環境								
	市民館跡地の利活用が図られず、市内に点在する国有財産の老朽化は進展し、都市機能の低下が懸念される。								
評価	評価項目		評価	評価の理由					
	妥当性	1. 市の関与（税金支出）		A	事業の目的や必要性について十分検討している				
		2. 事務事業の目的（対象・意図）		A					
		3. 事務事業の目標（活動指標等）		A					
	有効性	4. 計画の実施状況		B	本事業の方向性の変更はあったが、ほぼ計画通りに事業を実施できた				
		5. 目標（活動指標等）の達成度		B					
		6. 上位施策への貢献度		A					
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		B					
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み		B	不確定要素が多い中、最適な判断をしている				
		9. 類似事業との統合・代替の検討		A					
10. これまでの実施手段		A							
総合評価	A		将来を見据えた事業であり、持続可能なまちづくりにとって必要な取組であることから、引き続き、着実に事業を推進する						
改革案	今後の実施方向性	拡充		基本構想や基本計画を策定し、整備事業の実施時期を検討する					
	成果方向性	成果上昇							
	コスト方向性	コスト増大							
	改革効果（どのような効果が期待できるか）		文化芸術の振興や中心市街地の活性化、コンパクトシティの推進などが図られるなど、将来のまちづくりにおいて大きなまちの強みとなる。						